

## 式辞

新しい年、令和4年・2022年の幕開けに、記念すべき成人の一步を踏み出した 新成人の皆さん、晴れの日おめでとうございます。

そして、本日お忙しい中をご列席いただきました長野市長代理・安茂里支所長の倉嶋久美子様、長野市議会議員・布目裕喜雄様をはじめ、多くのご来賓の皆様方に心からお礼を申し上げます。

さて、今日の成人式、新成人の皆さんはどんな気持ちで迎えているでしょうか。オミクロン株の感染急拡大でこの式典も開催してよいものかどうか非常に悩みました。しかし、最後はこの状況下でどう行動すべきかというみなさんの・・・それこそ大人としての自覚に頼って開催することにしたものです。その点をどうぞ汲み取って頂ければ有難く思います。

ところで、コロナに悩まされる中、普段は見えないことを含め日本が抱えるいろいろな問題を皆さんも感じていると思います・・・豊かに見える現代社会、しかしその裏に潜む様々な問題が提起されたのも今回のコロナです。

普通に暮らせることが如何に大切で、そして大変であるか・・・いつでも自由に、行きたいところへ行くことが出来る有難さ・・・普段何気なく行なっていることが本当は大変貴重なことであると皆さんも身をもって感じたはずですよ。

皆さんは、世界の中のこの日本に生まれたことを幸せだと思ったことはありませんか。

「いまの日本なら自分がやりたいと思うことがあれば何だってできます。それは地元・安茂里、長野が舞台であろうと、日本全国が舞台であろうと、広く世界をステージに頑張りたいという望みも、自分の頑張りで何で「もできます」・・・そして、それを生かす生かさなひは、これからの皆さん次第

第です。

あの悲惨な戦争を体験した日本が、戦後77年を経た今、世界に誇る平和と繁栄の中にあります。そして、私たちはその平和と繁栄を享受する中で、今度はそれを未来の人たちにどう引き継いでいくかを考えなくてはなりません。

ここに来て、世界情勢は非常に不安定な様相を呈してきています。また、世界で多発する大災害は地球温暖化によるところが大きいと言われています。

コロナ禍で見た様々な問題に加えて、世界では地球規模の難問がクローズアップされてきています。

そうした問題が取り巻く中、自分はこういう道を進むのか……コロナの中で芽生えた新しい夢、コロナによって変化した自分の夢、何があっても変わらない確固たる自分の目指す道。

今日、成人式という一つの大きな節目の時を迎え、皆さんには大小に関わらず、とにかくそれぞれに夢を持って頂きたい……そして、ゆっくりでもいいから一歩ずつその夢に向かって進む自分の姿を想像してほしいと思います。

最後に、皆さんのそんな姿を願うとともに、新年早々お忙しい中、そしてこうした状況下ご列席を頂きましたご来賓の皆様には衷心より御礼を申し上げます。

令和4年1月8日

長野市立安茂里公民館長

新見 宏司